

# 劇場を 創る、 と 仕事。

令和3年度  
アーツアカデミー 東京芸術劇場  
プロフェッショナル人材養成研修  
研修生募集

舞台芸術に関わる専門人材を育成するため、東京芸術劇場では、アーツカウンシル東京が行う人材育成事業「アーツアカデミー」の一環として、将来、公立文化施設やアートNPO、フェスティバル等の舞台芸術分野で活躍する志を持つ研修生を募集します。



# 舞台芸術に関わる 専門人材の育成



## > 令和3年度 研修生募集概要 <

### 01 研修目的

公立文化施設等の公的機関や芸術団体、またはフェスティバル事業等で活躍することを旨とする若手人材に対し、プロデューサーやコーディネーターとしての資質の向上と舞台芸術分野へのキャリアチェンジに資することを目的としています。レクチャーやゼミ、現場での実務研修を通して、それぞれの業務に必要な知識や技能を付与するとともに、他の劇場関係者とのネットワークをつくる機会も提供するアーツマネジメント研修です。



### 02 研修目標

現場経験……………机上の論で終わることなく、理想を実現するための経験を蓄積する。  
 座学……………キャリアの基盤となる豊富な知識と、クリエイティブな思考を身につける。  
 ネットワーク形成……………将来のキャリアにつなげるネットワークを築く。



### 03 募集コース、内容、及び人員

研修コース	分野	研修の内容(例)		募集人数
		現場実習	座学	
長期コース (10か月程度)	演劇制作 音楽制作	<ul style="list-style-type: none"> <li>公演制作</li> <li>劇場運営</li> <li>フェスティバル事業</li> <li>広報業務 等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>レクチャー、ゼミ (アーツマネジメント、劇場運営、作品創造等)</li> <li>レポート作成 (月次レポート及び報告書)</li> </ul>	各コース 若干名
短期コース (3か月程度)	教育普及	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークショップ事業</li> <li>地域連携企画</li> <li>障害者アーツ</li> <li>公演鑑賞のための福祉サービス 等</li> </ul>		

(1)実務研修は本人の経験や適性と劇場のプログラム開催時期を考慮しながら、各コース・分野のカリキュラムの詳細を決定します。研修期間を通じて複数の実務研修に従事していただきます。  
 (2)長期コースは2021年度末に評価を行い、必要と認められた場合は1年を限度に更新することができます(ただし、内容に変更が生じる可能性があります)。  
 ※研修への取り組みに問題が見られる場合は、研修期間中であっても受講を取り消すことがあります。

### 04 研修期間及び時間

- ① 研修期間…………… ■長期コース 2021年4月下旬～2022年3月31日[木] 年間10か月程度  
 ■短期コース 【前期】2021年4月下旬～9月30日[木]のうち、3か月程度  
 【後期】2021年10月～2022年2月28日[月]のうち、3か月程度
- 長期・短期コースとも、研修内容により、研修日は週4日～週6日程度まで変動します(土日祝を含む)。
  - 短期コースの研修開始日及び終了日は、事業の予定と本人の希望を考慮し、相談の上決定いたします。
  - 長期・短期コースともフルタイム研修のため、原則として副業・兼業は出来ません。
- ② 研修時間…………… 原則として、8時45分～22時00分のうちの7時間45分(シフト制)

### 05 研修場所

東京芸術劇場、東京舞台芸術活動支援センター(水天宮ビット)、その他

## 06

### 参加費

無料（食事代や東京芸術劇場までの交通費等は、自己負担となります）  
※当劇場以外の場所で研修する場合、当劇場から研修地までの交通費は、実費を負担します。

## 07

### レポートの作成・提出

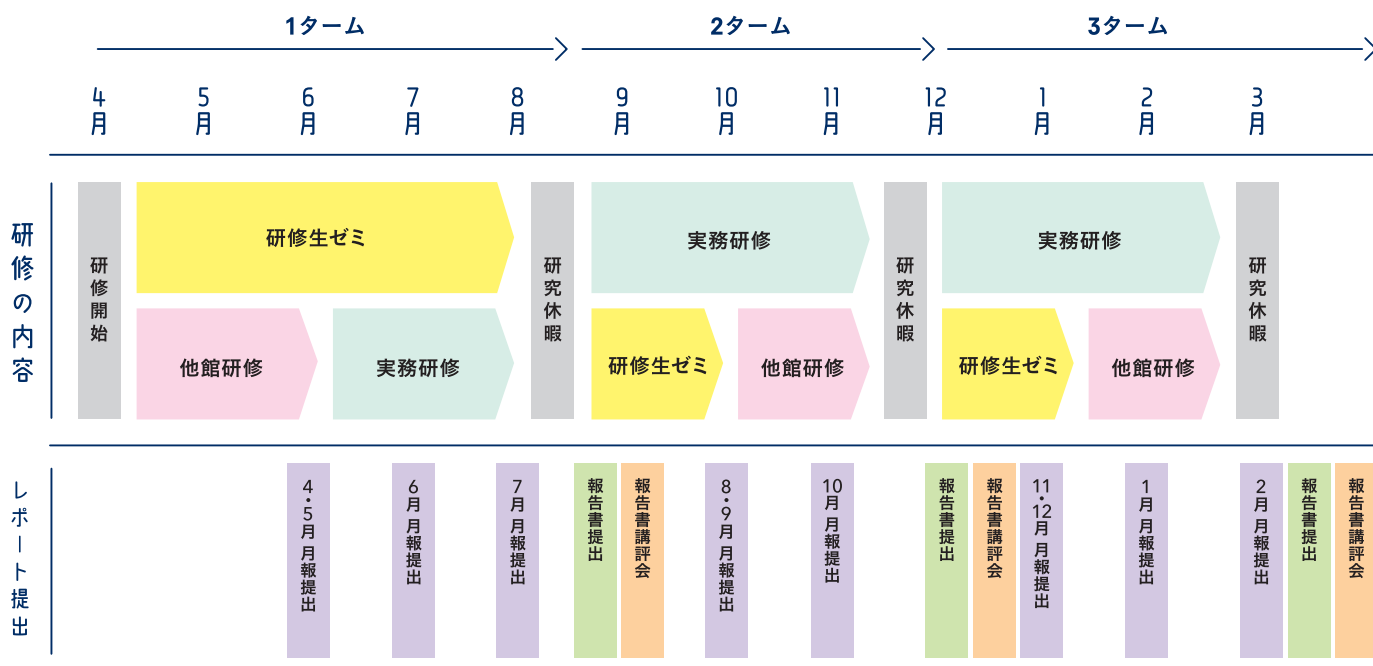
研修期間中に携わった業務について、当劇場が定める具体的な課題を基に所定の期間内に月次レポート及び報告書を作成し、提出していただきます。一定の水準を満たす内容のレポートを提出し、受講態度に問題がなければ、原則として1レポートごとに18万円(査定有り)をお支払いします。

- 上記金額には、調査研究費、通信費、及び報告書作成に係る事務経費を含みます。
- 雇用契約ではありませんので、労災保険、雇用保険、社会保険の適用はありません。

※公共劇場等勤務先から派遣される研修生の場合については、別途当劇場と派遣元と協議の上、条件その他を決定します。

※支払に際しては支払額を所得とみなし、所得税を源泉徴収した差引額を指定の口座に振り込みます。

#### 研修の流れ(長期コース例)



## 08

### 応募資格

- ① 職業として劇場やアートNPO、フェスティバル事業等での制作者(プロデューサー、コーディネーター)を目指し、研修期間中、高い意欲を持ち、真摯な態度で研修に取り組むことが出来る方。
- ② 年齢22歳以上35歳位までで、社会人経験があること。
- ③ 下記①～③のいずれかに該当すること。
  - ① 演劇または音楽の分野で、概ね3年以上の制作経験がある方(劇団、制作会社、フリーランス、大学、及び大学院等)。
  - ② 文化施設での勤務経験のある方。
  - ③ 企業等において、概ね3年以上の実務経験がある方。
- ④ 基本的なパソコン操作が可能なこと(エクセル・ワード・メールソフトなど)。

## 09

### 選考方法

- ① 第一次選考……書類審査 応募書類及び課題論文による書類選考
- ② 第二次選考……面接 面接日:2021年2月6日[土]  
第一次選考合格者に対して、主として人物及び識見についての面接を行います。

## 10

### 募集期間

2021年1月6日[水]～2021年1月20日[水] 必着(郵送のみ受付)

## 応募方法等

- ① 応募方法 …………… 簡易書留にてご郵送ください。その際、封筒に赤字で「アーツアカデミー研修生申込」と明記してご応募ください。  
※電子メール、FAX、及び持参による受付は行っておりません。
- ② 応募書類 ……………
  - ① 所定の「研修生選考申込書」
  - ② 所定の「履歴書」
  - ③ 所定の「志望動機・自己PR書」
  - ④ 論文1600字以内、指定の様式による。課題:「劇場法と公共劇場の役割について」
  - ⑤ 所属長推薦書(該当する方のみ)  
公共劇場等勤務先から本研修に派遣される場合は、所定の推薦書を提出してください。
  - ⑥ 返信用封筒 定型封筒(長3)に84円切手を貼付し、住所・氏名・郵便番号を明記してください。  
①～⑤の各様式は、東京芸術劇場ホームページ(<https://www.geigeki.jp/info/20201208/>)からダウンロードできます。  
応募の際にお預かりした個人情報については、本選考に必要な範囲内で利用させていただきます。  
なお、応募書類は返却いたしませんので、予めご了承ください。

## 合否の発表

- ① 第一次選考結果は、締め切り後2週間以内に本人あてに発送します。
  - ② 第二次選考結果は、面接終了後2週間以内に本人あてに発送します。
- ※ 選考結果については第一次、第二次とも電話等による問合せには応じられません。

### 修了生の声 研修を修了し、各現場で活躍する元研修生の声をお届けします。



安藤綾乃

2014年度研修生  
＜音楽制作分野＞短期コース  
北上市文化交流センターさくらホール  
企画事業課 勤務

現場研修で、シアターオペラの制作に携わりました。アカデミーの研修は、どの分野であっても、かなりがっつり現場の中身に関わらせてもらうことができ、研修生であっても、いくつかのことは、完全に任せてもらえるものもあります。わからないことや迷うことがあれば、プロデューサーをはじめ、周りの職員が親切に教えてくれますし、他分野の研修生との交流から得るものもたくさんありました。現在、かねてより希望していた地元の公共ホールで好きな仕事ができているのは、濃厚な3ヶ月間(短期研修)の経験が生かされているからこそだと感じています。



松岡大貴

2019年度研修生  
＜演劇制作分野＞長期コース  
豊岡演劇祭実行委員会  
事務局 勤務

大学で演劇を学び、公共ホールに勤めていた自分にとって、芸劇での実務や研修プログラムはこれまで自分が感じていた疑問や取り組みたい事業に対応する術を提案してくれるものでした。自主制作事業やフェスティバルに関わる実務は自身の経験を省察する事を助け、文化行政やアートマネジメントの知見は芸術の創造環境をどう担保していくのか深く考える契機となりました。引き続き都内で働こうとしていた自分が、地方で演劇祭の立ち上げに関わろうと思ったのもこの研修を通して出会った方々に背中を押されてのことです。有意義な経験と自分の可能性を考える、貴重な時間でした。



山内佑太

2020年度研修生  
＜教育普及分野＞長期コース  
東京文化会館 管理課 勤務

2020年度アーツアカデミーは、新型コロナウイルスの影響下での研修となりましたが、この非常時に芸術の担い手が何を考え、何を選択するのか、その動きを間近で見つめることができたのは、東京芸術劇場という都内有数の劇場に身を置けたからこそだと思います。芸術活動の最前線とも言える東京芸術劇場の現場では、多くのアーティストやアートマネージャーの方と出会い、多様な考え方に日々刺激を受けながら学びを深めることができました。現場での実践を通じた様々な出会いは、私にとって貴重な経験となっただけではなく、今後の活動の原動力になっています。

### 第1期から第7期 修了生の主な就職先

(公財)沖縄県文化振興会  
(一財)北上市文化創造 北上市文化交流センター さくらホール  
(公財)京都市音楽芸術文化振興財団 ロームシアター京都  
(公財)新日本フィルハーモニー交響楽団  
(公財)東京都歴史文化財団 東京芸術劇場  
(公財)東京都歴史文化財団 東京文化会館  
(公財)としま未来文化財団  
(公財)としま未来文化財団 あうるすぽっと【豊島区立舞台芸術交流センター】

豊岡演劇祭実行委員会事務局  
(一財)長野市文化芸術振興財団 長野市芸術館  
(公財)新潟市芸術文化振興財団 りゅーとびあ 新潟市民芸術文化会館  
(公財)練馬区文化振興協会 練馬文化センター  
(公財)兵庫県芸術文化協会 兵庫県立芸術文化センター  
(公財)福武財団  
(公財)読売日本交響楽団

# 想いをカタチにする思考と経験を、 プロフェッショナルの現場で身につける――

研修プログラムは、職員や専門家によるレクチャーやゼミ、  
東京芸術劇場での実務研修のほか他館の見学や研修、レポート指導、面談など、多角的に展開します。

## 研修の様子



レポート指導



公開ゼミ



研修生企画



報告書講評会



他館見学



出張研修

## 研修プログラム 過去の研修内容をご紹介します。

### ■レクチャー・ゼミ

#### 【公開レクチャー】

- 世界の劇場シリーズ
- 「これからの劇場運営と社会デザイン」
- 「アーツマーケティング」
- 「劇場にドラマトゥルクは必要か」
- 「文化政策と制作現場のつながりを考える」
- P.F.ドラッカーに学ぶ「非営利組織と自己のマネジメント」

#### 【館内ゼミ】

- 劇場法と日本の公共劇場
- 劇場と舞台技術について
- フェスティバルについて
- 演劇プロデュースについて
- 音楽プロデュースについて
- 企画製作・発表 等

### ■面談

日々の業務や研修内容、進路相談など、管理職職員との面談を定期的実施。

### ■レポート指導

週報・月報・報告書を執筆し、研修での学びを言語化することにより

客観的な視点と分析力を身に着け、「芸術文化」を伝える言葉の力を培う。

### ■他館見学、出張研修

他の劇場や音楽堂を見学し、スタッフと意見交換することで、  
各地の公立文化施設についての知識を深める。

- 新国立劇場
- 東京文化会館
- 世田谷パブリックシアター
- あうるすぽっと
- 彩の国さいたま芸術劇場
- いわきアリオス
- KAAT神奈川芸術劇場
- STスポット
- 水戸芸術館
- 金沢歌劇座
- SPAC―静岡県舞台芸術センター
- 可児市文化創造センター
- 兵庫県立芸術文化センター 他、多数

⇒ 応募書類送付先・問合せ先

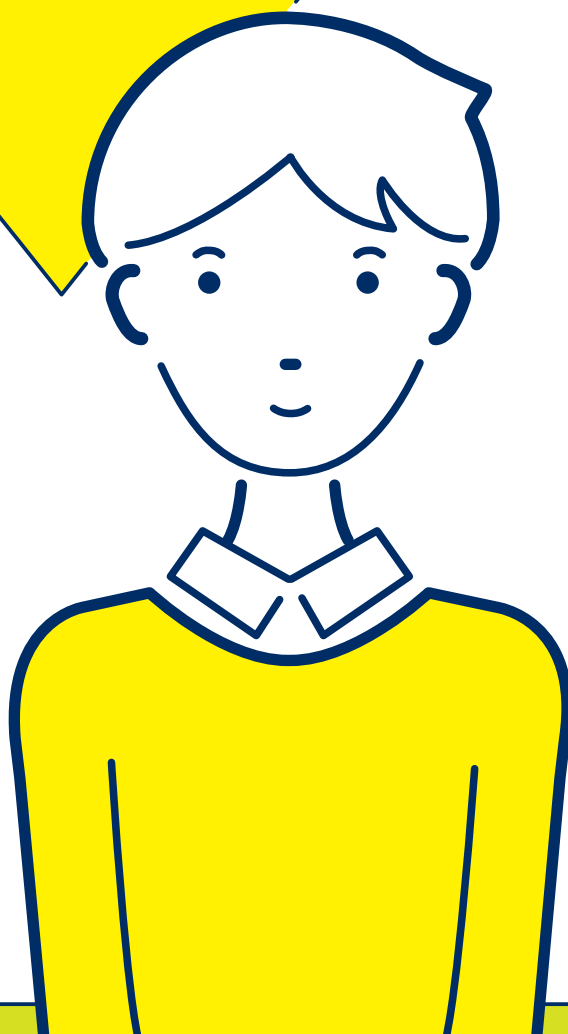
〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-8-1

東京芸術劇場 事業企画課 人材育成担当

TEL. 03-5391-2116

<https://www.geigeki.jp/>

劇場を  
創る、  
という  
仕事。



ARTS COUNCIL TOKYO

文化でつながる。未来とつながる。  
THE FUTURE IS ART

Tokyo Tokyo  
FESTIVAL

30th Anniversary 東京芸術劇場  
Tokyo Metropolitan Theatre

主催:

公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京・東京芸術劇場

※本プログラムは公益財団法人東京都歴史文化財団の令和3年度予算が財団理事会で可決され、同評議会が承認した上で実施が確定します。

※本プログラムの内容は、予告なく変更になる場合がございます。

東京芸術劇場について

東京芸術劇場は、東京の音楽・舞台芸術を代表する「顔」として、長期的な視点に立った芸術文化の「創造発信」「人材育成・教育普及」「賑わいの創出」「国際文化交流」に取り組んでいます。本格的なクラシック音楽、演劇・舞踊等の専用ホールと専門スタッフを有し、積極的な創造活動を行う東京芸術劇場の特性を活かし、高い専門性を持つ人材を育成していきます。